

STYLE
HOME DESIGN

Urban Living in a Country

By Aaron Belshy/Photographed by Mark Darley/Styled by Jody Thompson Kenned

Completely renovated and retrofitted to better withstand earthquakes, this 19th-century Napa Valley stone barn now provides its owner with free flowing space and a flood of natural light.

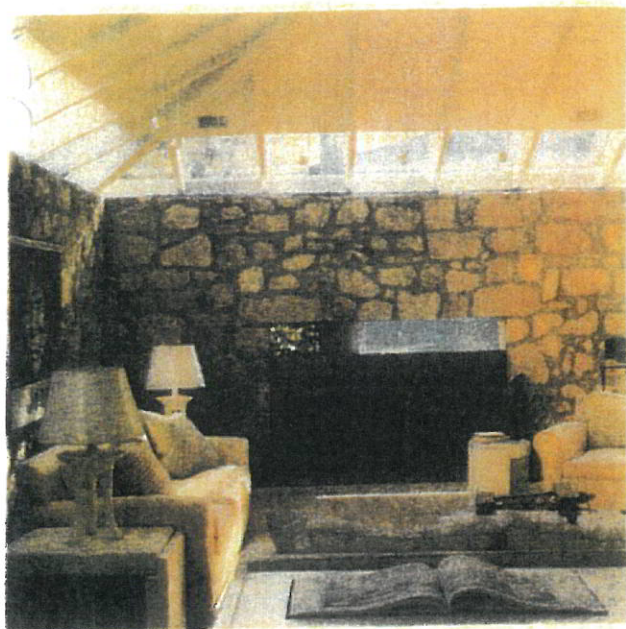


With its open floor plan and sparse contemporary furnishings, this stone barn in the vineyards of Napa Valley looks more like a city loft than a country house. Which is exactly the point, say architects Elizabeth Ranieri and Byron Kuth. After the 1989 Loma Prieta earthquake made a mess of the 116-year-old structure, the owner took the opportunity to open a gallery and office for a small private art foundation in what had been an antique shop downstairs. She asked the San Francisco-based architects for a complete redesign of the structure—gallery and office on the first floor, a new home with plenty of space and light on the second.

After discovering that the building had no foundation and needed extensive seismic retrofitting, Ranieri and Kuth, working with local architect Jim Jennings, set to work. They repointed the stone, rebuilt the wood floors (wild-sawn maple was first matched, then bleached) and replaced the roof with

Above: The architects ramp the west yard grass around the pool, olive trees. Below left: Barbara Barry of LA helped the owner select furnishings for rooms, including the six concrete lower island right. Oversized metal islands brushed with a point contain plenty of storage, as does the liquor cabinet.





pitched rafters to stabilize the walls. By installing a perimeter skylight, they created the open room that dominates the second floor and the illusion that the ceiling floats above the entire space like a tent.

"The owner wanted a loft, but she is also a pragmatist who wanted a couple of rooms," Kuth says. The architects solved the problem with flexible walls. The kitchen features a "utility wall" that will can define the space. A small corner with pivoting translucent screens becomes a private bedroom. And finally, the designers conceived in addition, a small concrete tower that serves as a cozy salon.

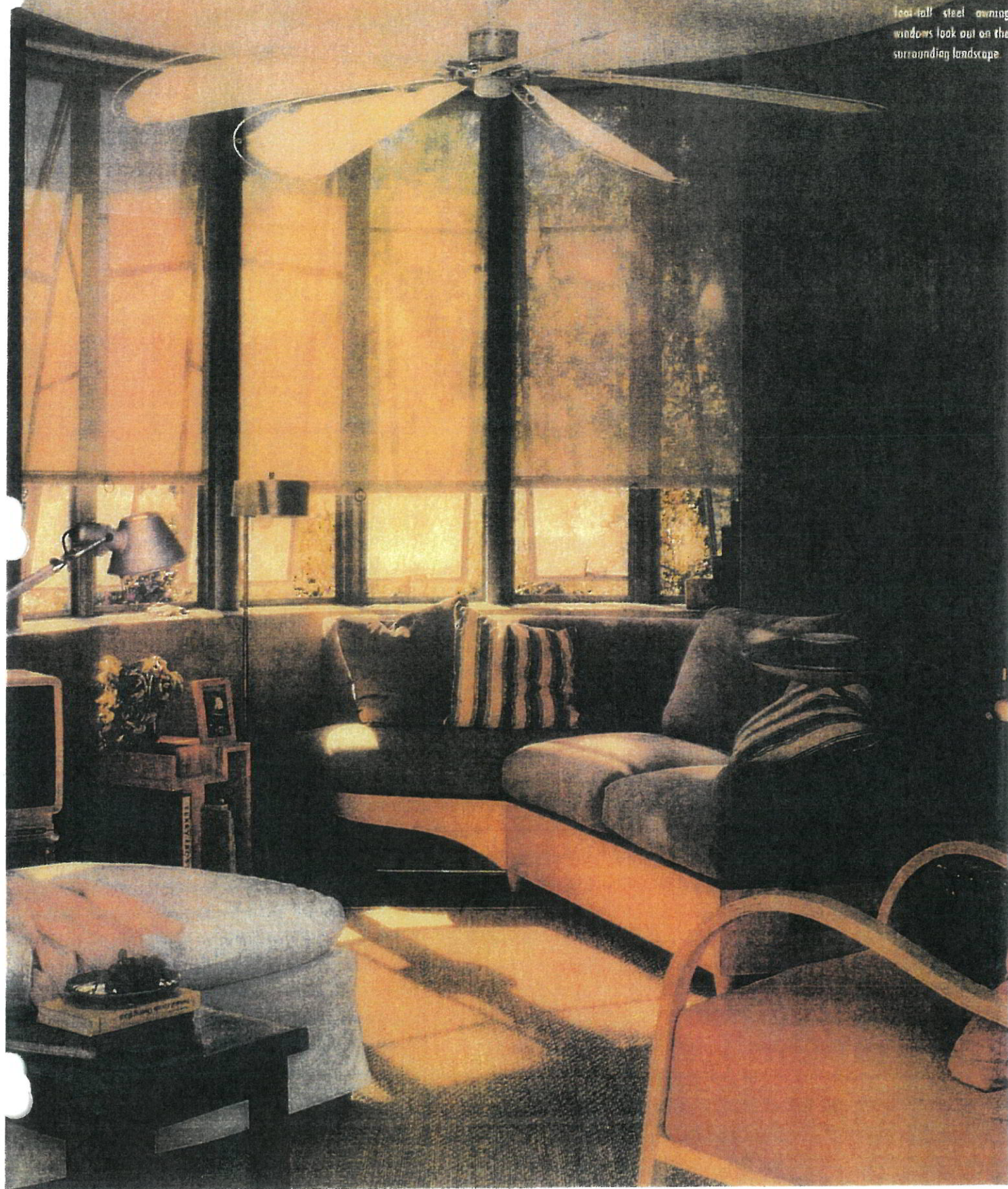
Ranieri and Kuth labored to find just the right finishing touches. The utility wall is covered in hook-matched symmetrical veneer; the bathroom wall, lustrous automobile paint. And, though many fixtures were fabricated, Ranieri laughs, "We now know every door handle you can buy in the Bay Area."

Once a primitive stone shell, the building has emerged a thoroughly modern home in which living isn't rigidly compartmentalized. "We started with something practical and built up a poetic order related to use." Practically poetic, this loft opens up a space for the imagination.

Above left: A stone wall in the living area was rebuilt so that a concrete beam and window could be inserted over the fireplace. The flue also serves an outdoor grill directly behind the fireplace. Above right: The perimeter skylight casts shadows in the dining area, defined by a wall that slides away for access to storage. Below left: The sitting area overlooks a vineyard retaining pond and wildfowl. Below right: One kitchen wall was designed around a painting in the owner's collection. Stools with mesh bases complement the liquor cabinet.



The intimately proportioned salon has poured-in-place concrete walls left raw to match the barn's raw stone. Six foot-tall steel awning windows look out on the surrounding landscape.



US \$7/CAN \$9

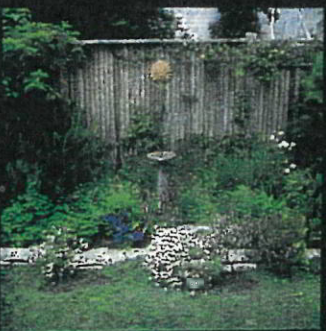
APRIL 1995

LANDSCAPE ARCHITECTURE



Residential Design Awards

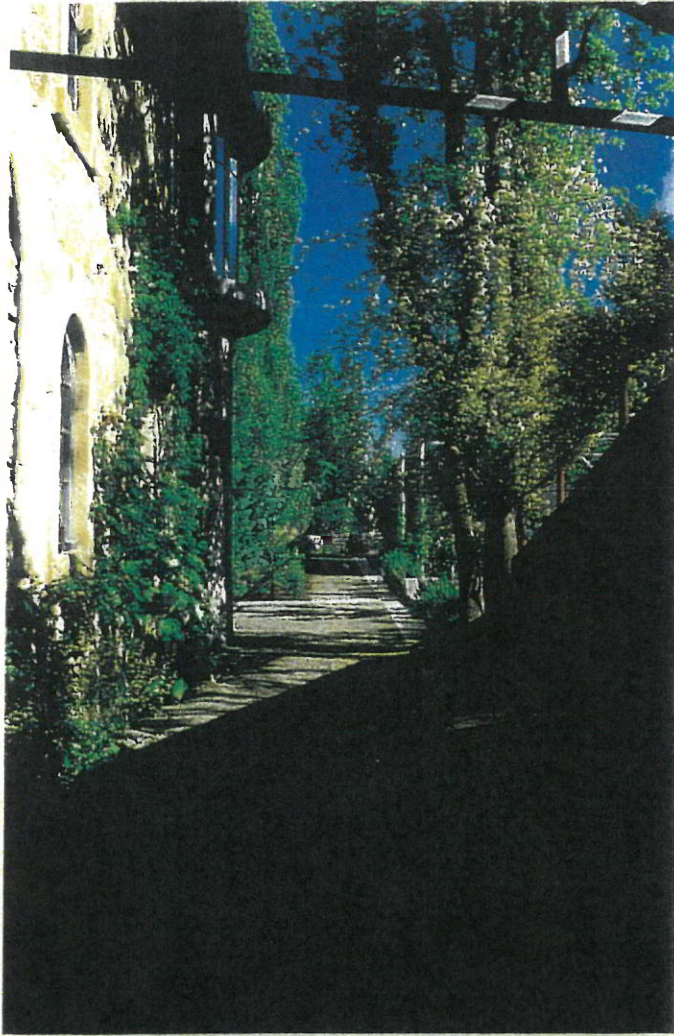
Opening the Garden

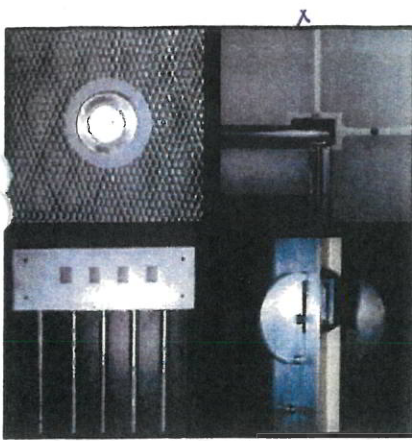


First Place Award

Greene Garden

St. Helena, California





details1.tif
1.0MB



details2.jpg
72.9KB



door detail.jpg
124.9KB



exterior stair
241.4KB



GARDEN SHEET.tif
14.7MB



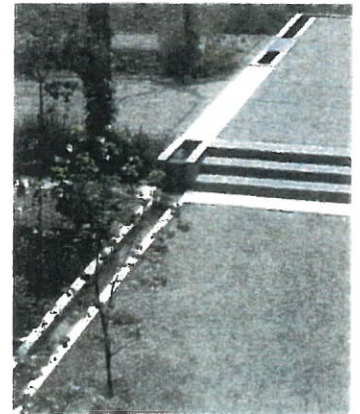
GARDEN SHOT 1.tif
5.2MB



GARDEN SHOT 2.tif
6.3MB



GARDEN SHOT 3.tif
6.1MB



GARDEN SHOT 5.tif
14.5MB



GARDEN SHOT 6.tif
7.7MB



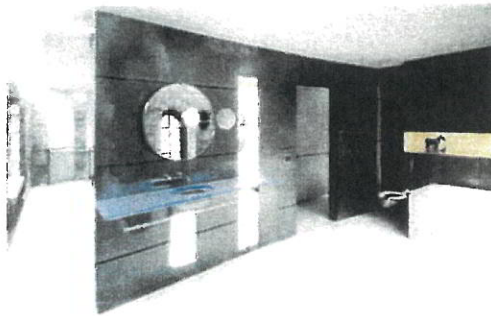
GARDEN SHOT 7.tif



GARDEN SHOT 8.tif
1.6MB



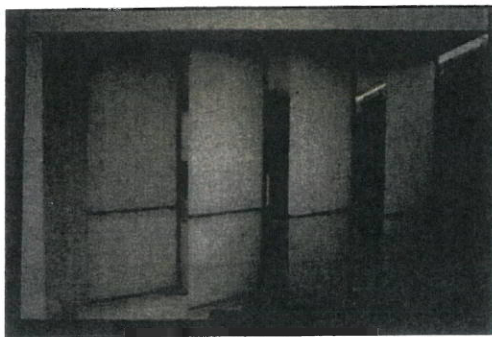
glass entry.tif
7.5MB



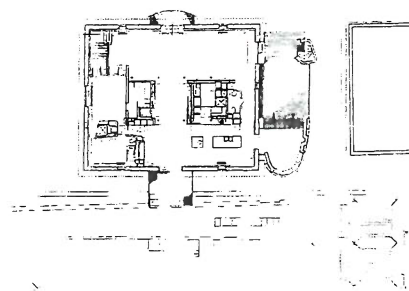
glass sink bath.tif
2.4MB



GOLDSWORTHY.tif
20.2MB



Green bdr partition-open.jpg
68.6KB



GREENE second floor.tif
8.1MB



Greene sliding door detail.jpg
59.9KB



kitchen2.tif
2.5MB



metal grate/tree detail.tif
686.6KB



RANIERI_02.tif
10.8MB
RANIERI-02



RANIERI_03.tif



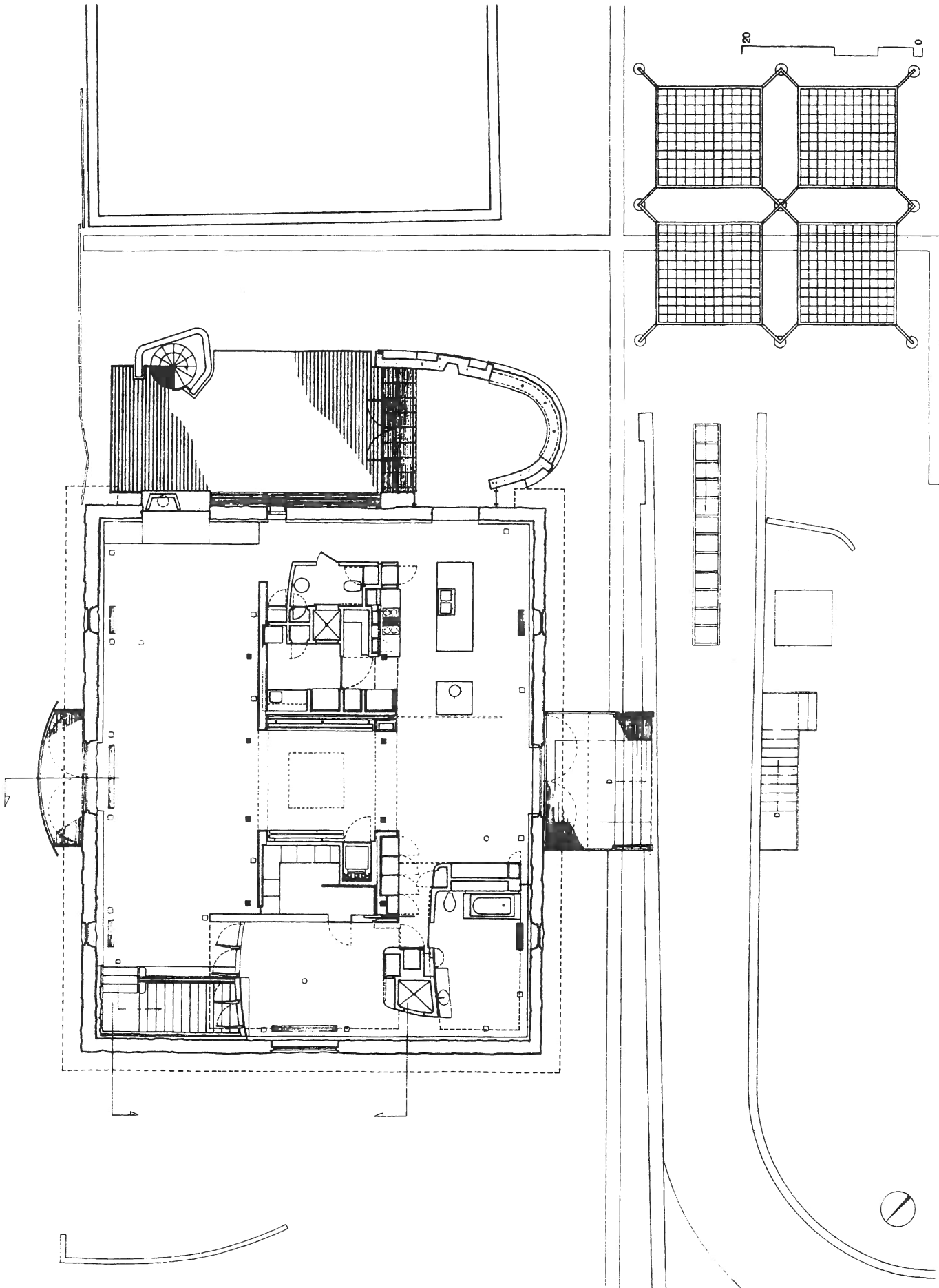
rounded bath.jpg



TOWER--1.jpg



wood bar.jpg
217.9KB



快適な住まいにインテリ...

モダンリビング

ModernLiving №102 sep. 1995

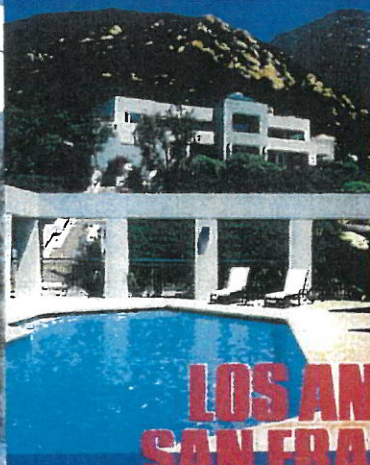
婦人画報社

東海岸

EASTCOAST
NEW YORK &
BOSTON

● 現地徹底取材

アメリカの 最新インテリアに注目



西海岸

**LOS ANGELES &
SAN FRANCISCO**
WESTCOAST

San Francisco Modern

ハードな素材違いが新鮮な「サンフランシスコ・モダン」
活躍めざましい新進建築家がつくる新しい住宅の姿

Private Residence and LEF Foundation Gallery and Offices

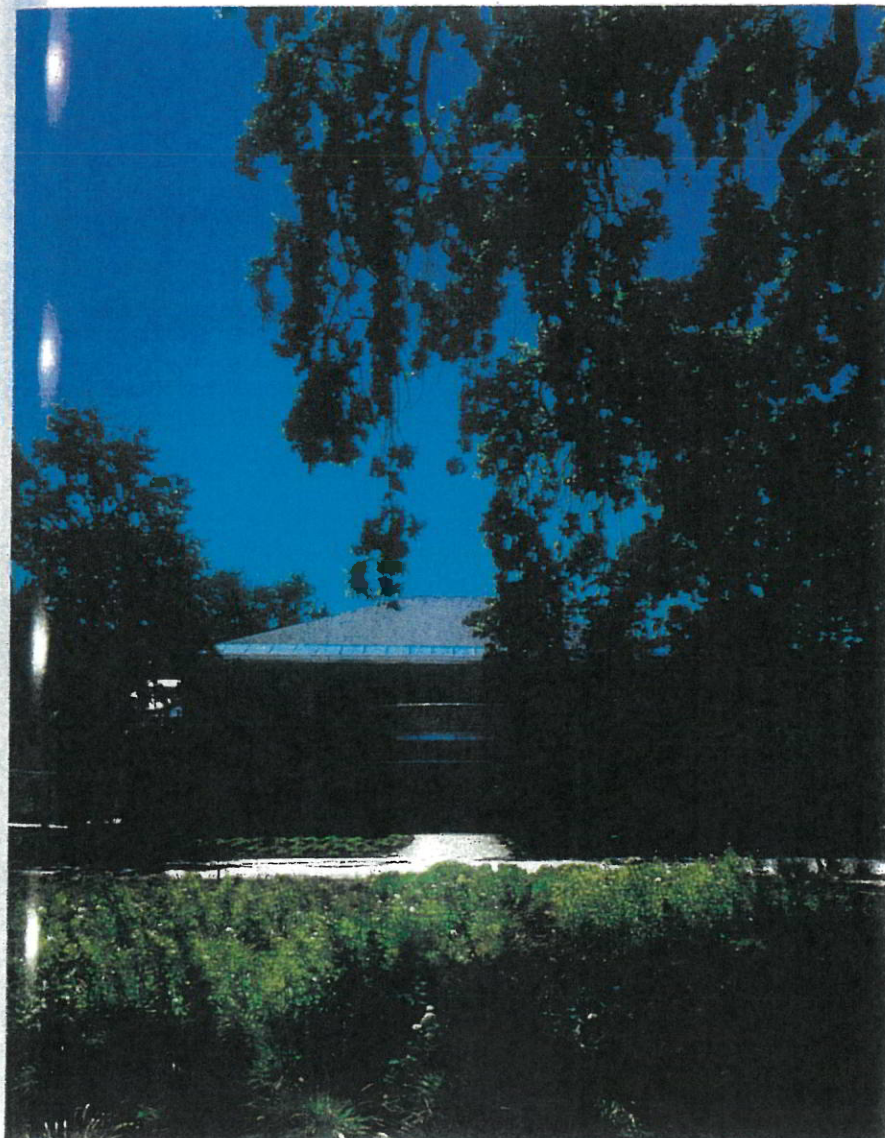
19世紀末のワイナリーを アーティスティックに 甦らせる

Kuth Ranieri with Jim Jennings Arkhitekture

年月の重みをたたえる石壁から建築コンセプトの発想を得た、
若い建築家コンビの最新作です。「新旧の素材の対比」と、「見せる構造」を
2大テーマとして、自然の中に穏やかな住まいを完成させました。



5 「この建物の親人的な細部の仕上げや素材違いは、日本人の感性に通じるところがあると思います」と語る、建築家のパイロン・クース氏とエリザベス・ラニエリさん。エントランスポーチにて。



4

1 ギャラリーの脇を抜けた
裏手にある玄関へのアプロ
ーチ。坂の上からは目の前
にプールのある庭が開ける。
2 オーナーが設計を依頼す
る決め手となった、ストー
ンハウスに隣接するコンク
リートのタワー。古いストー
ンハウスに、現代の石壁
であるコンクリートという
素材を対比させたもの。1
階はオフィスに、2階は小
さなつろぎのスペース。
3 公園の中に立っているよ
うな錯覚さえ覚える、木々
に囲まれたプールのある庭。
左手が母屋。右手奥に見え
ているのはゲストハウス。
4 レフ・ファウンデーション
全体の正面外観。屋根に
は一列にスカイライトが並
んでいるのが見える。1975
年にオーナーがここを見つ
けたときには、5エーカー
の牧地内にナバ・カレッジ
の建物やアスファルトの駐
車場があり、今とはまるで
違う雰囲気だったという。

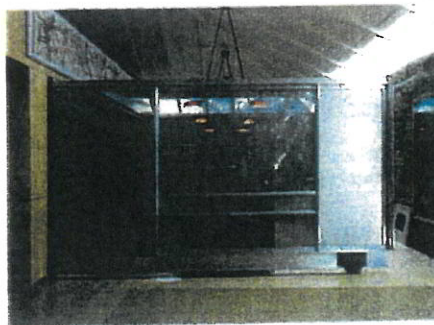




6

7

6 キッチンからダイニングスペースまでを見通して。左のアーチ形のドアが玄関。表されている古い柱材は改修前からのオリジナルの部材で、1階と2階で柱の位置がずれていたところは、基礎部分からやり直した。カウンター上の横に長いナンシー・スベロのアートは、設計段階からここに飾るよう計画されていたもの。
7・8 ダイニングから見るとキッチンの奥にコンクリートタワーへの入口がある。キッチンカウンターはすべてカスタムメイド。パーティの際には、壁に収納されていたパンチングメタル製のスクリーンが引かれる。



8

サン・ミッシェル・ニ・ド・ラ・メーヌから、ニールラングートブリッジを通りハイウェイを走ることおよそ40分。芸術支援財団のオフィス&ギャラリーと、オーナーである女性の住まいを上下に構成した「レフ・ファウンデーション」は、ブドウ畑が広がるナバ・バレーの美しい自然の中に溶け込むように建っています。

この建物は、1880年前後に建てられて以来、小さなワイン工場や厩舎として使用されていたという右づくりの建物を改造したもので、設計から完成まで3年を要しています。改造のきっかけの一つは1989年秋の大地震の際に出来たヒビ割れ。地震対策をきちんとしたうえで独創的でオープンな空間にしたいという条件で、何人かの建築家に相談しましたが、最終的に気に入ったのが、クース／ラニエリというデザインオフィスの提案した、石壁とコンクリートの新旧の素材を組み合わせたプランでした。

最大の目的であった耐震性の強化は、大空間を覆う屋根に設けられたスカイライトのスチールフレームを連続させることによって行われました。四角い箱状のストーンハウスの内部はそれぞれの部屋に明確な境界がなく、中央のロフトからはフロア全体を見渡すことができます。

キッチンやバス、収納といった生活必需品スペースの機能面でも最高のクオリティが確保され、新素材やコンテンポラリーアートが生み出すモダンな雰囲気、石壁の持つ時の重みと渾然一体となり、調和の取れた美しい空間をつくり出します。

窓の外には敷地いっぱいの緑と陽光。「大切な事業を行う場として、プライベートな住まいです」と誇らしげに笑うオーナーの気持ちにストリートに伝わる、豊かさが満ちあふれた家でした。

9年後の日光がはいり込むリビングルーム。スカイライトは四方を囲むように石壁に沿って設けられているので、石の陰影を効果的に見せることができる。右手の本棚の扉を開けると玄関





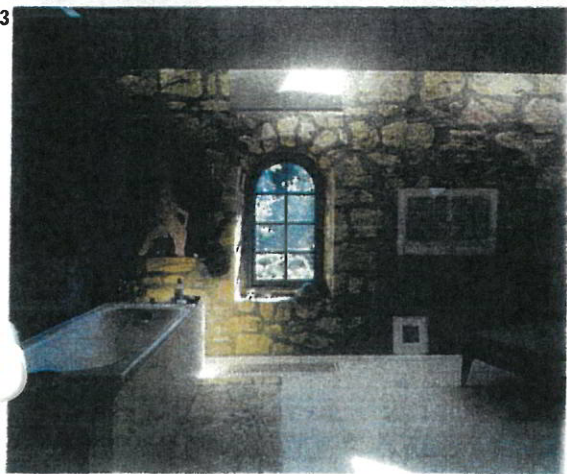
10 ココヤシカーペットを敷いたリビングのメインスペース。白いソファは以前から持っていたもので、その他のソファやチェアはインテリアデザイナー、バーバラ・ペリーと共同でファブリックを選びスリッカバーを付けた。左の壁のドローイングはクリストファー・ブラウンの作。ダイニング奥の同じ作家のリトグラフとともにいちばん気に入っている作品。

10



11 正面に見えるダイニングと玄関。そして手前のリビングスペースを結ぶ通路は両側に壁面収納と本棚が造り付けられた。右の壁面の少し奥まった部分には上階に上がる工業用リフトが設置されている。
12 リビングに直接つながるベッドルームの、羽のような4枚の扉は同時に開閉する仕組み。1階のギャラリーへ続く階段ホールの手すり前にある椅子はペイエリアの作家、フィリップ・アギーの作品。
13 写真12の奥に見えるのが、このバスルームの窓。居室のメープル材の床とフラットにライムストーンの床を貼り、ディベッドを置いてゆったりとした空間に。以前から愛用のバスタブはそのま利用し、周りを床材と同じ石で仕上げた。手前はサニタリーコーナー。

13



12





17ギャラリー入口脇のソファコーナーからフロアを見渡す。床に敷かれたレールで整収納が移動できるようになっている。左の窓脇を使ったテーブルはクース／ラニエリのオリジナル。白とグレーの6脚の椅子はアルヴァ・アアルトのデザイン。

San Francisco Modern

レフ・ファウンデーション

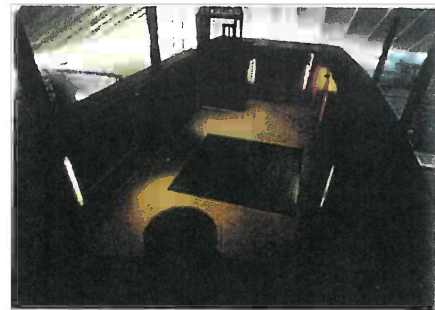


18

18コンクリートタワーの2階からデッキを見て。ストーンハウスは小さな窓しかないため、ここでは足元から天井までの大きな開口部を設け、開放感を楽しむ。デッキのバーベキューコーナーの裏側は、リビングルームの暖炉になっている。
『安藤忠雄を意識したというコンクリートタワー。』
『穴にブルーのガラス玉をはめたのは、UCバークレー出身の若いアーティスト。壁を使ったアート作品だ。正面のソファベッドはクース／ラニエリのデザイン。1人でくつろぐのに最適な場所。』



新旧の対比で、現代アートがより新鮮に見えてくる



14



15

14床の中央にガラスブロックがはめられたロフト。照明を当てるとガラスを透過した明かりが階下へ落ちる。ここは遊びに来る孫たちのプレイルームでもあり、納戸的な収納スペースでもある。15ロフトから階下を見下ろす。ストーンハウスの開口部は当時のまま。屋根のフレームが全体を覆い、補強しているのがわかる。



16

161階のレフ・ファウンデーション・ギャラリー。撮影当日は、カルーク族のインディアン、ブライアン・D・トリップの展覧会が行われていた。オープニングには300人の人が集まったという。

19